

日誌 (昭和34年11月)

【国内】

- 2日 ○本行、証券取引所および証券金融会社3者は、協議の上、短資取引担保株式預り証の基準担保掛目を引下げ（現行60%を50%へ）
- 5日 ○大蔵省、証券業者の最低資本金の引上げを決定

- 10日 ○政府、輸入制限緩和措置を発表
- 26日 ○昭和34年度一般会計予算補正第2号成立
- 27日 ○経企庁、昭和33年度国民所得を発表（国民総生産10兆3,155億円）

【海外】

- 4日 ○英為替当局、英蘭銀行券持出額を従来の20ポンドから50ポンドへ増額し、11月5日から実施する旨発表
- 英モードリング商相、日本および共産圏を除く諸地域からの残存輸入制限の大部分を11月9日から撤廃する旨発表
- 5日 ○英商務省、11月10日以降金製品などを輸出許可制からはずす旨発表
- 6日 ○韓国銀行、公定歩合を日歩1銭8厘から2銭へ引上げ
- 7日 ○米連邦最高裁判所、全米鉄鋼労組のスト差止め命令に対する上告を却下、鉄鋼スト、冷却期間にはいる（1月26日まで）
- 9日 ○イタリア議会、輸出融資基金設置を承認
- 10日 ○ガット総会、イタリアの輸入制限撤廃を要請
- 11日 ○第11回コロポプラン閣僚会議、インドネシアのジョクジャカルタにて開催
- 19日 ○フランス、IMF借款2億ドル期限前返金

- 20日 ○外部7か国諸国、ストックホルムにおいて欧州自由貿易連合の協定に調印
- ガット総会終了
- 23日 ○日米円卓会議（ビジネス・インターナショナル）東京にて開催（28日まで）
- 24日 ○世界銀行事務局、国際開発公社の定款草案を決定、近く理事会の審議開始
- 26日 ○国際砂糖理事会、タンジールにて開催（27日まで）
- 英エイモリ蔵相、議会においてラドクリフ報告の主要提案を拒否
- 日伊貿易交渉打ち切り
- 27日 ○国連、イタリア信託統治領のソマリランド独立を承認
- 29日 ○豪州政府、12月以降の輸入制限緩和を発表
- 30日 ○ハンガリー社会主義労働者党第7回大会開会、第2次5ヵ年計画草案討議可決